

老人保健福祉施設の給湯・空調

この老人保健福祉施設は、老人ホーム、保育園等の複合施設です。

そのため、施設内の空調は、お年寄りや保育園児に配慮しボイラー等の火気の使用を最小限に抑えるため、安全性の高い蓄熱式ヒートポンプシステムを採用しました。

【改善効果】

- ・ガスボイラー方式に比べ設備費は割高となるが、業務用蓄熱調整契約の適用により、光熱費が低減し、ランニングコストが低く抑えられた。(約256万円/年)
- ・特別な資格者が不要で、24時間自動運転が可能である。
- ・全自動集中管理システムにより設定温度が常に保たれ、お年寄りの健康維持にも貢献している。

改善費用	改善効果	回収年数
2,312万円	911万円/年	2.5年

【設備概要】

- 業務用蓄熱調整契約適用負荷：248kW
- (給湯) ・給湯専用空冷HPチラー：20kW
 ・冷房廃熱回収型HPチラー他：19kW
 ・加温ポンプ他：17kW
 ・貯湯槽：16m³
 ・浴槽容積合計：20.7m³
- (空調) ・冷暖房用空冷HPチラー：82kW×2台
 ・冷温水ポンプ：28kW
 ・蓄熱槽：250m³
 ・空調面積：3,379m²

システム図

